

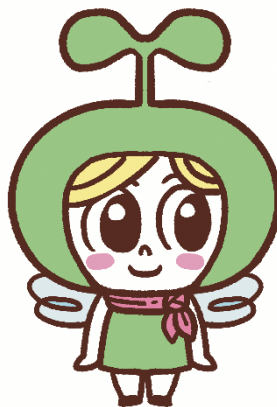
マスコットキャラクター（デザイン&ネーミング）

家庭教育と自然の共生を描くキャラクター **シャメルン**と**もりのん**

～シャメルンは悩みを聞き・話すことで芽が出ます　もりのんは、シャメルンの話を包み込んでくれます～

「子育ての森」には、青森県民の子育てに関する不安や悩みにそっと寄り添い、いつでもそばにいてくれる妖精たちが暮らしていました。

新米妖精のひとり「シャメルン」は、「もりのん」のアドバイスを聞きながら、子育てに不安や悩みを抱える人に寄り添い、自分も一緒に成長していきます。



【シャメルン】

「社教（総合社会教育センター）」＋「芽（新しい命・可能性・未来）」＋「ルン（楽しい気分）」＝新しい命が楽しく育つお手伝いをする新米妖精

子育ての知識を勉強中の新米妖精。
県民の子育ての不安や悩みを感じたらすぐに飛んで行って寄り添ってくれます。
少しおっちょこちょいだけど頑張り屋さん。
「一緒にゆっくり育っていこうね」が口癖。



【もりのん】

「森（自然・命・地域の象徴）」＋「のん（のんびり・穏やかで優しい性格）」
＝森に長く生きている知恵深いマザーツリーの存在・母なる木

森の中心にいる「マザーツリー」的存在で全妖精のお母さん。
子育ての経験、知識も豊富で、妖精たちにその知識を愛情たっぷりに教えてくれます。
子育ての不安や悩みも全て受け止めてくれます。
語尾”のん”は、親しみやすく柔らかい響きを表しています。